

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 31情報化推進費

◎情報化推進の経費

情報処理事業

【 情報推進課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
地域情報化:行政情報を得やすい環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 各部各課

意図 ホストコンピュータを適正に管理し、各課等の事務事業を支援するため。

効果 迅速かつ正確性のあるデータ等を供給することにより、効率的効果的な市民サービスの支援体制の拡充が図られる。

【事業の内容】

(1) 情報処理事業

- ・ホストコンピュータによる住民記録、市県民税、国民健康保険、財務会計システム等のオンライン業務を処理した。
- ・ホストコンピュータによる住民記録活用、市県民税、国民健康保険、財務会計システム等のバッチ業務を処理した。
- ・ホストコンピュータ接続の端末機の設置及び維持管理を行った。

(2) 電算センター運営事務

- ・電算センターの維持管理に係る経費を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
300,240	295,511	293,790		1,721

主な支出内訳

・ 情報処理事業

OAプリンタ用紙等消耗品費	2,422
機器等維持修繕料・回線使用料	736
ホストコンピュータ運用保守業務委託料	68,494
データ変換業務委託料	10,396
ホストコンピュータ操作業務等委託料	12,536
ホストコンピュータ等周辺装置賃借料	114,054
ネットワーク端末機賃借料	62,116
LAN用機器賃借料	7,172
無停電電源装置賃借料	3,804
裁断機購入費	2,867
地域医療センター維持管理費負担金	5,190

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 昭和49年に情報処理業務を開始して以来、法改正や原課要望などによるシステム改修を繰り返し行っており、システムが相当複雑化している。 新たな改修にあたっては、既存システムの検証などに多くの時間を費やしている。 また、改修後の検証には原課にも過大な負担をお願いしており、市民サービスの低下を招く前にシステムの全面改修をする必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) システムの複雑化に伴い、適性を有するSEの確保や職員の育成に努めるとともに、電算処理の標準化を推進している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 複雑化したシステムの全面改修などによる市民サービス低下の防止。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 「基幹業務システムの見直し」を実施計画に位置づけたため、各業務ごとの全面改修を順次行っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	総合計画・後期実施計画の中で国保、税、住民記録等の基幹業務の再構築を行っていく。				
担当課長氏名:		戸 張 隆			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	総合計画・後期実施計画の中で国保、税、住民記録等の基幹業務の再構築を行っていく。				
担当部名	経営企画部	部長名	小村 亮一		